

日時： 2020年 5月3日(日) 14:00~17:00

- 議題：(1) 第 47 回研究会議事録承認の件
(2) 本研究会 2020 年度活動方針の件
(3) 第 85 会年会中止に伴う本研究会から発表予定であった案件のこれからの進め方
(4) 研究会メンバーの近況報告
(5) 資源エネ庁が募集中のパブリックコメントについて
(6) 研究会の今後のすすめ方(自由意見)

本日の議事

- (1) 第 47 回研究会議事録の件：第 47 回研究会の議事録を確認した。
- (2) 本研究会の 2020 年度活動方針は、既に SCENET 総会へ提出済み。内容はメールで各人に連絡済み。
- (3) 化学工学会第 85 会年会は中止となったが、そこで発表予定であった下記 3 件につき状況報告があった。
- (3-1：橋本)「1F2 号機デブリ冷却を停止した場合の RPV、PCV の上昇温度の推定」に関する件は、橋本が引き続き内容を深化させ、出来れば化学工学会英文誌に発表することを了解した。デブリ冷却水停止期間中の RPV、PCV の実測温度変化から微係数を求め、それぞれの原子炉容器の熱容量が推定出来ることにポイントを置いた論文構成にする。
- (3-2：松田) 化学プラント等の材料腐食データの自動採取・送信システムの AI 化につき発表は中止となったが、今後とも開発は継続予定。現在の課題は、送信距離を伸ばすこと。
- (3-3：牛尾) 内部空隙の大きい吸着材を作る造粒技術の開発につきポスター発表予定であった。同材料でも通常の造粒法に比較して吸着容量を大きくすることが出来、吸着効率の良い放射性物質の吸着材として使える。引き続き発表の場を探りたい。ポスター、オーラル問わず発表や技術説明させていただける場があれば、どこへでも伺う。
- (4) 研究会メンバーの近況報告
研究会メンバーの近況を報告しあった。
- (5) 資源エネ庁が募集中のパブリックコメントについて
(5-1：橋本) 資源エネ庁廃炉・汚染水対策チームが「多核種除去装置等処理水の取り扱い」に係る書面による意見提出を求めている。
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620220008&Mode=0>
締め切りは 5 月 15 日。
この「パブコメ」に対して橋本の NPO での友人が応募した。内容は「ALPS 処理水でトリチウム以外の放射性物質濃度を告知濃度以下にまで浄化した水を中古 25 万トクラスのタンカーに移し、風評被害の小さな南海の小島まで運搬し海洋放出する。この案に対し何が問題

かを専門家に検討してもらいたい。」というもの。

(6) 研究会の今後のすすめ方 (自由意見)

(6-1：牛尾) この研究会のあり方として、企業で現役として開発に携わっている立場からの意見ですが、現在開発している技術に対する専門家コメントがいただけるよう場にもなれば非常にありがたい。

(6-2：横堀) 公開講座原子力関係、6月6日開講予定がむつかしそう。今年は中止もあり得る。5月末までの判断。受講生が5人以下なら中止判断。

SCENET 関東支部と連携でいろいろと企画があるが、開催は5月いっぱい無理。集会は6月以降であろう。教室形式以外のWEB教室になるかどうか？

(6-3：横堀) 本研究会、次回をどうするか？いつ？6月か？どうする？WEB会議か？等々の検討を含め、伊達さんからみなさんに連絡を取ってもらう。

以上